

2018/11/02

卓 481 秋の陽射し



(2018/11/1 11:13)

明け方から十数度ほど温かくなるお昼前。

具体的には, 7℃くらいから20℃くらいに上昇。



(10/31 12:38)

お昼をいただいたあと、

陽射しがまた直接室内に差し込む季節に。



(10/27 13:14 ニュージャージー発表に「ちょっぴりもの申す」な生徒)



(11/2 19:23 夜間にたたずむニュージャージー)

(校名ロゴはこのあと在校生からデザイン募集)

3時半。

掃除の時間も陽射しは強し。



(11/2 15:38)



(10/29 15:38)

台風 24 号からもたらされた塩が
窓ガラスからなかなかうまくふきとれません。



(10/29 15:39)

やれる範囲内での念入りの対応を日々体験。



(11/2 15:39 おつかれさま)

暮れる時刻も徐々に早まりつつあり、
陸上部やテニス部は、明るい間の練習時間が
縮まりつつあります。

紅葉・黄葉の便りはこれからとなりますが、
休日の日中は是非とも、
この時季の景観を楽しみに出かけるのが
お勧めです。

先日の日曜(10/28)は、早朝から出かけ…、



(10/28 6:04 JR 東京駅)



(7:53 JR 湯河原駅)

大学時代に入っていたサークルの方々と
再会です。



(11:08 お泊り会の二日目だけ日帰りで合流しました。)



(9:32, 9:53)

まずは柿の高木から8人がかりで実を収穫。

…さてもさても格別見事な柿じゃ。

ちなみに、能狂言同好会ではありません。

こちらの滝は、神奈川と静岡の県境。

関東地方と中部地方の境目でもあります。



(12:09, 12:16 湯河原・万葉公園 柵の左が静岡県・右が神奈川県)

ちなみに、ジオパーク同好会でもありません。

平日同様に、ゆったりと時間は過ぎ…。



（ 12:53 「絵画愛好会」というサークルでした。湯河原駅前 ）

帰途です。

秋の太平洋を眺めながら、

週明けモードに戻りました。



（ 15:04 JR 根府川駅 ）

ちなみに、鉄研でもありません。



0 コメント
コメント一覧

2018/11/09

卓 482 地図 ありますか



(2018/11/5 7:54)

7, 8年くらい前までは

「地図 ありますか？」という問合せを

職場の先生から受けることがよくありました。

授業で使うためということで、教科等では、

英語科の先生からのがダントツで、次いで、

保健や、学年の校外学習といった具合です。

たしかに、英語の長文読解などで扱う文章

などは、内容の分野が多岐に亘るために、
自分では解っていても、どう取り上げれば
授業などで解り易くなるものかなど、
先生方は日夜十分な研鑽を怠りません。
それゆえ当然、
地図は地理屋に訊くことになるでしょう。

地理屋なら、地図帳の残部とかを抱えている
だろうと思われがちですが、実際は、地図帳は
副教材ではなく、正規の教科用図書である
ために、在籍生徒と指導する教員の分のほかは
残部が生じませんので、「はいどーぞ」と
お分けできるものは、全然ありません。
スキャンしたものなどで勘弁してもらいました。
それよりもまず、訊かれたら、
「どのへんの地図をですか？」と返します。

じつはここからが注目箇所です、
人それぞれが頭の中でテーマにしている
地図の範囲や詳しさが、そのときどきによって
異なります。メンタルマップ(頭の中の地図)とか、

空間認知などとよんでいるのですが、
自分の必要としている範囲が解っている上に、
人に注文するだけの表現力の方も要されます。

たとえば、

「アメリカ(合衆国)全体と、州やおもな都市名」

「日本全国の都道府県名と庁所在地名」

「世界の国々と首都名」

「大阪と京都と神戸の位置関係が解る」

「オーストラリア全体とおもな都市名」

「佐久市の『望月里めぐり』で歩く経路」

「取手市内の全学校名とおもな道路や交通」

「九州修学旅行で巡る市町村とおもな道路」

といった具合です。

さすがに、

「地図と言ったら、地図です！！」

とお切れになる先生はいませんでした、

生徒では、そう言った人が過去に、いました。

地図という物体感の方が、

盛り込まれている情報の範囲よりも

大事だったのでしょう。

このことは、持ち物や食べ物に寄せる好みの
度合いについても、同様のことが言えます。

たとえば、

「どういう うどんが食べたい(うどんを食べた)。」

が話せることと、

「うどんだったら、食べられれば何だっていい。」

とだけ構えていることとを比べてみても、

指向の質的相違は、如実に顕われています。

最終的には、面白味とか話の魅力度だとか、

その人のお金の良いつかいかたなどにまで、

明暗が分かれたりもします。



(2018/11/7 13:42)

で、本題に戻りますが、どの場合においても、
自分の求めている地理情報が整理できていて、
それをどうアウトプットするかが、
「地図 ありますか？」の決め手となります。

でも最近では、
この問合せが以前ほど多くはありません。
WEB で検索し、編集・印字・アレンジする
などのスキルが、時代と共に進展したため
なのかもしれません。ですので今は、
対話の糸口として歓迎するような感じです。

くわえて、地図という語も、
計画や工程、人生設計をたとえる意味で、
話し言葉で使うことも少なくありません。

地理的な空間＋諸情報の、本来の地図から、
いつ(時点)・どの人が・どれくらいの時間・
いくら・どのポジションに・・・などの、
こちらもまた多岐に亘る次元に応じた地図が、

個人や組織の意思(意志)決定に
求められ、ある意味、突きつけられている
といっていいでしょう。
目的意識を確かめる意味でも重要です。

ですので、使いようによっては、
「地図 ありますか？」も、
重量感のある問合せに様変わりします。



(2018/11/5 7:54)



11/12(月)から 11/17(土)まで,

5年生(高二, 35 期生)の九州修学旅行に出向かれる

生徒の皆さん, 引率の先生方,

地図 ありますか？

0 コメント

2018/11/16

卓 483 ○分の1



(2018/11/14 9:23)

イチョウの黄葉もそろそろ終わりに。



(11/15 7:57)

中学・1年。地理。



(11/14 11:38 3校時終了後)

最近は、授業中の板書を

「撮ってもいいですか？」と毎回5, 6名が。

もちろんOKです。

何年か前を思い出すと信じられない風景ですね。

修学旅行中の5年生(高二)の皆さんは

今, お元気ですか?とここに書いてみたのも,

本稿を見られる環境下にあるからであります。

巻末のコメントに何か打ってくれる5年生

いると面白いですね。それどころじゃないかも。

さて, 話は中1・地理に戻りまして,

きょうの4時間目(11:45-12:35)。

内容は, 地形図の読図の仕方。



(11/16 12:19)

実際の距離(長さ)と, 地図(縮図)上の長さ。

その縮め具合が,

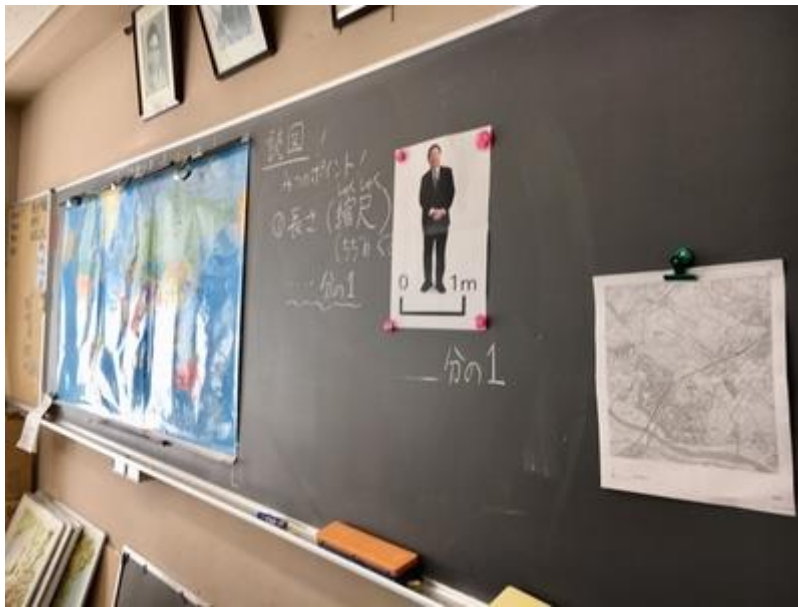
「()分の1」でおなじみの, 縮尺です。

でも, 初めてだと, 実際の

5万分の1だの, 2万5千分の1だのと

出て来られても, すぐにはピンと来ず。

そこで, 今日は黒板に,



(12:19)

この縮図のわたしは、

「 何分の1 」でしょーかっ？

「 **2分の1** ! 」

「 あのねー……」

実物の私も、板面のミニの私の横に立ち、

だいたい何分の一なのか、

見た目でもいいので見積もり推測タイム。

「 答えは整数です。」

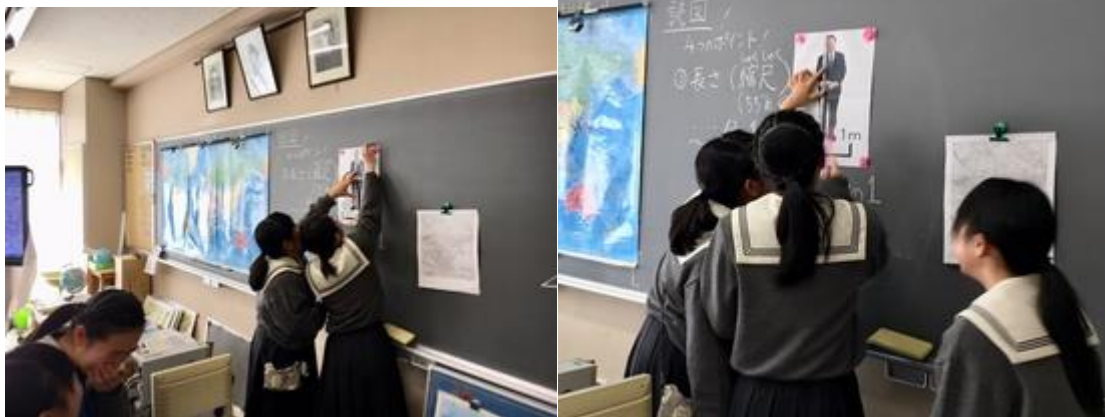
「 10分の1ですか? 」

(喜んでいいのかわからない)

そこで、私の身長も何cmか言いまして、

「代表の人は前に出てきて、

図の中の先生の身長を測ってちょうだい。」



(12:19 12:20)

「 33センチ。」

「 小数点以下まで測ってもらえる? 」

「 えっと、33. 6センチ。」

そして席に戻ってから、三人衆ごとに

考えを言い合って・・・

(中略)



(12:29)

・・・この図の縮尺が求まりました。

今週は花の修学旅行先からの投稿が満開ゆえ、

今回はここでおしまい。



0 コメント

2018/11/23

卓 484 調和三景

月曜日は教員週番活動で、

取手駅東口のスクールバスのりばに。



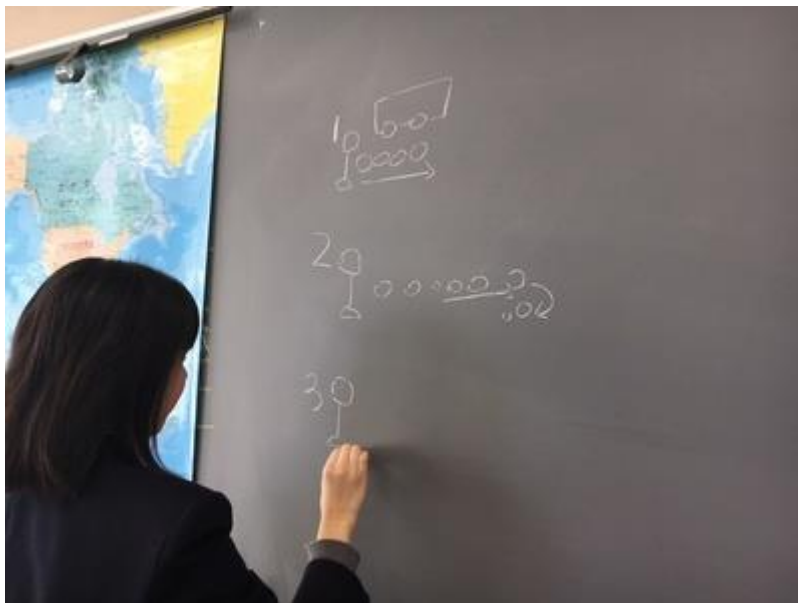
(2018/11/19 7:41)

平日・土曜は、6:50 発, 7:20 発, 7:50 発。

生徒によると、各便とも、バス待ちの

列の並び方が異なるのだとか。

松戸からJRで通う6年生(高三)に聞いてみました。



(11/21 13:40)

バスは、運転席横の前扉からの乗車です。

1便目(6:50)は、吹奏楽部、陸上・駅伝部の
生徒など、いわゆる朝練に向かう生徒が利用。

これは、ごく普通に1列で並ぶようです。



(11/19 7:47 3便目が入線)

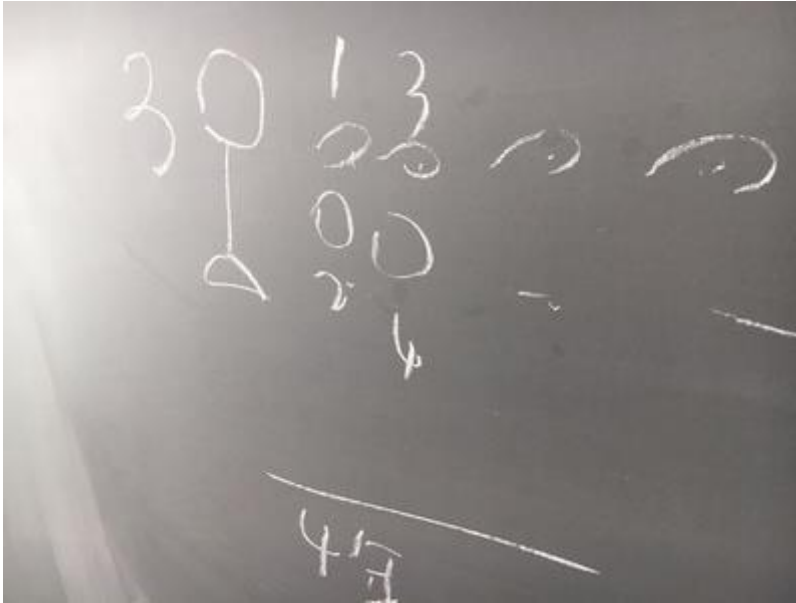
2便目(7:20)は、少し人数が増えます。

列が長くなると、ヘアピン状に折り返して
並ぶのだといいます。

3便目(7:50)。

この便の場合だと、2列に並ぶようです。

さらにもう1列、3列目があるのですが、
そこには遠慮がちに高一(4年生)が1列で。
でもなぜか、中学生は、1・2列目の方に、
6・5年に交じって並んでいるのだという…。



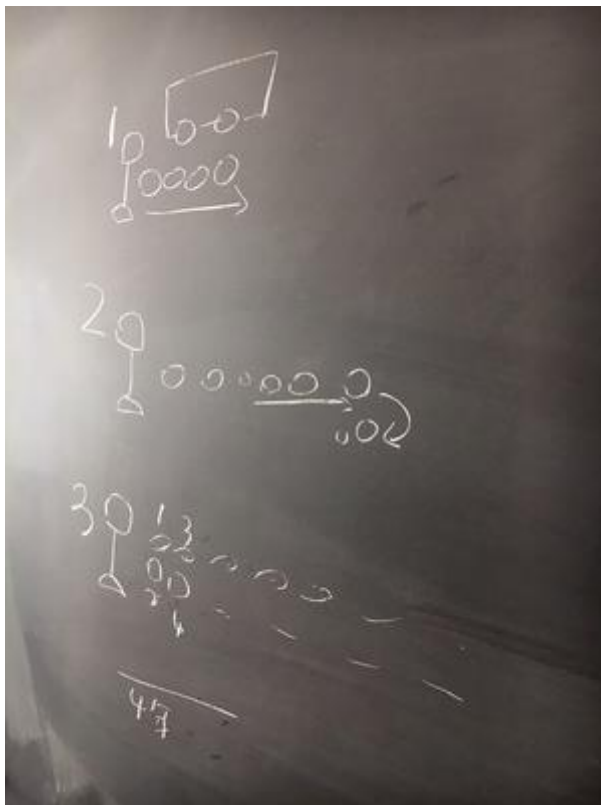
これらのパターンは、
教員が指導したものでもなく、
影響力の強い生徒がいたというわけでもなく、
便ごとのルールが、
特に何かの統制を受けることもなく、
日々形成されていったようなのです。



(11/19 7:47 今年度は青いリボンの新制服が高一(4年生)と中1)

また、日ごろ1便目に慣れている生徒が、
初めて3便目を利用しようとした際に、
1便とルールが異なることに戸惑ったものの、
3便「常連」の子も、それをとがめることなく、

「ああ、こう並べばいいのね…」と
やんわりと気付く程度で済み、
不快な思いをすることはなかったようです。



特に議論を交わしたわけでもなく、

小さなルールが形成されていったことも

興味深く思いますが、

3便の場合は、5か月後、年度が変わって、

現・4, 3年生がそれぞれ、5, 4年生に

進級したあとに、今度はどのような並び方に

変化するのかということにも興味あります。

もちろんそれは、

協調性が継がれての変化であると予測します。

木曜(11/21)は、年に一度の
松戸校(秋山校)の先生方との
合同研修会。今年は取手が会場校でした。
従前の研修とはスタイルが一新したのは確かです。



(11/22 9:42 9:45 5C)



(10:42 10:52 6A)



(12:26 15:30)

8月下旬の登山(神奈川県の大山)以来,
7～8時間の山歩きを 11/18(日)に。

奥高尾エリアの山々を。



(2018/11/18 10:14 景信山(標高 727m)からの眺望)

中央自動車道の都県境にある渋滞の名所・

小仏(こぼとけ)トンネルといえばお解りの方も多い

かもしれませんが、トンネルの上を跨ぎます。



(11:01)



(11:01 路をはさんで、左は東京都八王子市、右は神奈川県相模原市南区)

景信山、小仏城山などの山々も、

紅葉の季節の休日とあり、

そこそこ人出はあったのですが、



(13:22)

高尾山頂は、5000～10000 人はいたでしょうか。

定番のコースの混雑ぶりは、下山のロープウェー

乗車が50分待ちとの情報に、やっぱりね、

でしたので、数通りある下山ルートから、

混雑度で無難な「稲荷山ルート」を選択。

それでも…、



(14:42)

台風が仕掛けた倒木があり、リンボーダンスで
上向きにくぐるかとも話していましたが、皆、
所々からだを軽く痛めたりしていることもあり、
そんな余裕はないまま、ごく普通にくぐった次第。



(14:42)

要所要所に展望スポットはありましたが、
この日の天候は雨こそ免れたもののいまひとつ。
案内看板で擬似堪能します。



(14:54)



(14:56 高尾でカカオ)



(15:01 バッグはお茶づけ)

眺望のほかにも, 途中で共に味わう名産に,
前後の苦労がスーッと癒されるのが快感です。



(10:25 12:05 2か所の茶屋で熱々なめこ汁を はしご)



(15:54 下山後のお饅頭屋さん店頭で お茶といただく高尾まんじゅう)

ちなみに、今回の山歩きのメンバーは、
1990(平成2)年度に本校で講師で勤務していた
同い年4人組！の、古川(石川)由利子さん、
真柴晶彦さん、永見隆志さんと私の中年登山。



事前打合せも「来すぎ高尾」のグループ名で、
周到の一步寸前まで用意を重ねておりました。



(2018/11/18 15:56)

人との再会も、お店での飲食もよいのですが、
大自然を長時間、歩いちゃ休んでというのも、
味わい深いものがあり、中年を山へ誘います。



0 コメント

2018/11/30

卓 485 秋の出口・冬の入口

来週月曜から期末考査です。

今日の掃除の時間(15:30-15:40),

仕事をしながら4年生(高一)から,

「先生もテスト前は忙しいんじゃないですか？」

「そうですねえ, 目が疲れちゃって, もう大変。」

などのやりとりで, 互いに励まし合う会話が

自然と時候の挨拶代わり。

毎日仕事がつのしめているのは, 大事な経験。

というわけで, 期末直前, 今日の画像は,

本日撮ったものを時系列でご紹介にてご勘弁。



(2018/11/30 8:14 左側の枯れ木 2 本は, 春はそれはもう見事な彩りに…)

駐車場。

8時前に, 玄関前ロータリーに停めていた車を,

打合せ(8:00~)終了後, 大駐車場への移動後。

正門の方へ移ると,



(8:19)

定刻を少し遅れて着いた路線のスクールバスが。



(8:19)

木々の装いも, 秋から冬へ。



(8:20)

2校時の5A 理系・地理 A。

テスト前の最終です。



(10:17)

会食(12:45-13:10, 毎日の全校給食)。



(12:59)

この時期の熱々お味噌汁はご馳走です。



(13:01 今日は大根と油揚げ)

放課(15:50)の直後。

またまた車の移動のために駐車場へ向かうと、



(15:51)

3階から6年生(高三)が遠くの何かを撮影中。

このあと4時過ぎに急に暗くなるこの季節。

学校から取手駅まで 15 分。

5・6・7時台のバスで駅前に着くと、



(17:16)

イルミネーションが放つ色彩に気が和みます。

いろどりに満ちた秋も終わりを迎えました。

* * * * *

5校時, 職員室にてかなりの時間,

後藤先生が電話の受け応えを。

新聞社からの電話取材だったようです。

取材内容はなんと, 生徒たちが

演出・出演した 1～2 分の短編動画5作が
取手市の HP に 11/29 にアップされたとのこと。

くわしくはこちらからどうぞ。

★ 取手市 HP <<とりで MOVIE>>

「 市内高校との共同制作『選挙に行こう！』

選挙啓発動画を公開しました 」

https://www.city.toride.ibaraki.jp/soumu/shise/senkyo/keihatudouga_senkyoikou.html

★ すぐに YouTube ヘジャンプする方はこちらから

https://www.youtube.com/playlist?list=PLPUP_w5_zmO3gVDZ9F9Qo5u68hhc9QoDM

今年からの新制服を着た

4年生(高一)たちの熱演ぶりがなかなかです。

上掲の啓発動画とは無関係ですが、

情報セキュリティ啓発フレーズを。



「 U.S.B. ! メモリーは使用しない。」

（ 替え歌ではないつもりです ）

（ 必要な場合は使っています ）

乗り切りましょう。期末考査

（半分自分に言い聞かせたりもしている）。



0 コメント

2018/12/07

卓 486 しんみりとした旋律

金曜日。今日は帰りが遅くなりそうだと思い、
車を校内奥地にある駐車場から、
玄関前へと移動しに出た、6時過ぎ。



(2018/12/7 18:15)

18:20 のバスを目指す姿の見える生徒玄関前。

2階から聴こえる吹奏楽部の奏でる旋律に、

「 ああ… もう そんな シーズンか…。」

と。しんみりとした気分。



（ ユーフォニアムでしょうか。大きい管楽器を吹く姿も…。）

今週あった定期考査の前は、

多分耳にしません。

で、突然ですがここでクイズです。

わたしが「ああ…もうそんなシーズンか…」と

思ってしまった、吹奏楽部の皆さんが練習

していた曲の名前は、次のどれでしょう。

お考えください。

A: Last Christmas (Wham!)

B: 蛍の光 (スコットランド民謡)

C: You Raise Me Up (Secret Garden)

D: Mステのテーマソング (松本孝弘)

(THINKING TIME !)

全然関係がありませんが、先日藤代・鎌倉山さんでいただいたタンメンのようすです。



(2018/12/2 12:32 12:34)

それでは答えです。

答えは。

D！ Mステのテーマソング

ではなく、一つ前の

C,

You Raise Me Up (Secret Garden)

でした。

それでは解説です。

Aは、ワムの不朽のクリスマスソングですが、
ついきのう木曜に期末考査が終わった
吹奏楽部員にとって、クリスマス頃の本番
まで、練習期間日数は短すぎでしょう。

Bは、実は惜しい答えであるのと同時に、
お店に入ったら閉店を告げるBGMに、
「ああ…もうそんな時間…」
と思った設定だったならとも思いますが、

それをわざわざ吹部が奏でるのも妙です。
閉店時の「蛍の光」も実は減っているのかも。

Dは、金曜日ということもあり、
テレビ朝日でこの曲が流れ始めたときなど、

宵の口を実感するところですが、

これもまたなぜに吹部が奏でる必要があるかに

解が見出せません。個人的には好きな曲です。

正しくは「#1090 ～Thousand Dreams～」とのこと。

で、正解のCはといいますと、



(2017/3/6 12:18 現高二(5年)内部生が 最前列にて中学卒業の春)

(進行) 「 卒業生、退場。」

の直後、演奏される曲。



(12:30) (ステージから降りるに合わせ、M ステのテーマでも合うかもわかりません。)

ズームアップ。

左へと退場する卒業生たちと、

その頭上の席で演奏する吹奏楽部。



指揮棒を、
井後先生が振ってた年も、
加藤先生が振ってた年も、
小塚先生が振ってた年も、
高橋先生が振っている年も、
涙と抱擁と喝采に包まれる場面です。

卒業生の皆さんにとっては、卒業式の退場は、

You Raise Me Up (**Secret Garden**)

ではなくて、

If We Hold on Together (**Diana Ross**)

だったよという方、

My Way (Frank Sinatra)

だったよという方、

様々かと思います。

(もちろん、惜しかったBの「蛍の光」のほか、
国歌や「仰げば尊し」も式で吹部が演奏。)

でも、どの年・どの曲のときだって、

見送られる当時の卒業生の一人一人の姿も、
吹奏楽部員の皆さんが心こめて奏でる音色も、
わたしたちの脳裡から消え去ることはなく…。

そんなシーンを彩る稽古が

ついに今年も始まった…。

心温まる…冬。



1 コメント

コメント一覧

- 1

お疲れ様です。

「You Raise Me Up」は、卒業した今でも聞くと、当時聖徳で感じた“感情”や“思い出”があふれるほど出てきて涙が出る、とても大切な曲です。

月日が流れるのは早いですね…。

今年も卒業生の皆さんが取手聖徳で作った、たくさんの「思い出や経験」を胸に。卒業なされることを心から願っております(^^♪

by: 卒業生, on 2018/12/18

コメントを書く

2018/12/14

卓 487 学校所在地

6年(高三)進学文系の選択地理 B は,
今年もこの時季にフィールドワークを。



(2018/12/10 9:48)

学校周辺は、小貝川が蛇行する田園地帯。

取手市 山王, 中内, 櫛木の約9km。

風に吹かれたり, 雨に打たれたりすることもなく,

過去の旧版図(65 年前, 115 年前)も見比べながら,

途中バスも利用しながら, 2時間半。

きょうは, ひたすら画像だけのご紹介。





↑ (10:29)







↑ (11:00)





↑ (11:15)





↑ (11:30)









↑ (12:00)





(12:28 第九の練習に大学(松戸)へ向かう音楽科生)

↑



ちなみに学校所在地は、茨城県取手市山王1000です。



0 コメント

2018/12/21

卓 488 つくる巡礼(リケジョたちの選択)

取手聖徳の冬休みは他校より少し長め。

2018/12/21～2019/1/9 までの 20 日間。



(2018/12/20 9:07)

(終業式恒例の「＊学期を振り返って」(この日は中学3年生))

ちなみに,

某大手玩具小売店からの巨大チラシが今年は

家に届かなくなったことに気づいた今日この頃。

保護者的には刺激的紙面の減少に幾分の安堵。

そうは云っても, 今週月曜・6校時。

5A 理系の地理 A の授業は, かねてから

「他国のお菓子を作りたい。」

の希望を実現。



(2018/7/9 14:54 15:14)

構想は7月から。しかし、

1学期最終授業での実施は、

練り込み・絞り込みに至っていないことと、

おりからの今年の酷暑ゆえ、食材を

持ち込んでの調理活動に若干の不安を誰もが

覚えたことなどにより、

ほどよく、12月・2学期末にスライドした次第。

2～3案あった候補も、

全員で1候補を50分間で作り上げるという

結論に落ち着いた模様。

家庭科の調理実習の場合とは異なるので、

材料費は割り勘。

私もご相伴に預かることゆえ、分母にちゃんと

加えといてねと、割り勘に参加を(¥432)。



(2018/12/17 14:28 14:31)

14:30。作り始めたのは、

タルタデサンティアゴ(Trata de Santiago)。

材料から気候風土が。デザインから信仰が。

カトリックの国・スペインの銘菓の一品。

我々お馴染みのカステラやマドレーヌ(仏)を
想わせる材料の焼き菓子です。



(14:34 14:48)

60 分間は想定内として、
高2リケジョたちを見ていて思ったのは、
人×時間の枠組みの中、無駄な動きが
ほぼ皆無。



(14:58 15:10)

作業内容の中にも、
調理や片付けの均衡が整っていました。



(15:21 15:25)

掃除の時間と違い、
限られた条件下で自ら立案した協働活動です。
五感も活かされた内容ゆえ、授業で提供できる
体験的な活動としては大きな意味をもちます。



(15:25 20:58)

「中が2層になってる。」と感想は構造にまで。

たしかに、和菓子「桃山」を連想する断面。

でも、口中でアーモンドとレモンの香味漂う、

その地の風土を思わせる優しい甘味でした。

本来表面に施すべき十字の紋章の図柄は、

時間の関係で省略となりましたが、



(2018/12/17 15:30)

生涯のいつかどこかで、この焼き菓子の
本場を訪れ、地元で作られているもののほうも
味わってみる予定にするのはどうでしょう。
私もこのことを目標に加えることにしました。



本校は聖の字が付くからかときどき、
「キリスト教の学校ですか？」と聞かれる

こともあるのですが、いずれかといえば、

「篤く三宝を敬え」に近い立ち位置に在ります。

0 コメント

2018/12/28

卓 489 特徴と向き合うとき

【文中の設問の正解を末尾に掲載しました 2019/1/3 】

おかたづけのシーズンです。

ひよんなものが出てきてしまって、

作業の手が止まっちゃうこと、よくありますね。

終業式の前日、職員室の

とある一角からこんな額縁が。



(2018/12/19 14:09)

なんと、10年ほど前の専任教員の

似顔絵を卒業記念に描いてくれた傑作が、

日に褪せることなく再登場。



末尾には、「平成 21 年 3 月 聖徳大学附属

聖徳高等学校(第 24 回生より)卒業記念」

とあります。東海さんの作画と記憶しております。

自分の SNS 上にアップしてみましたところ…

卒業してまだ数年以内の方々からは…

「××先生、△△先生の顔は わかります。

お若かったですね。(＋自身がいた時よりも
前におやめになった先生は わからない旨)」

一方、20年以上前に卒業した方々からは…

「▽▽先生、□□先生の顔は わかります。

お元気ですか？(＋自身がいた時よりも
後に加わられた先生は わからない旨)」

といったような内容のコメントが。

確かに一世代違う分、感想は対照的です。

でも、上に××とか▽▽と記した、

おぼえられている先生の名は共通して、

20年以上前から勤続している先生。

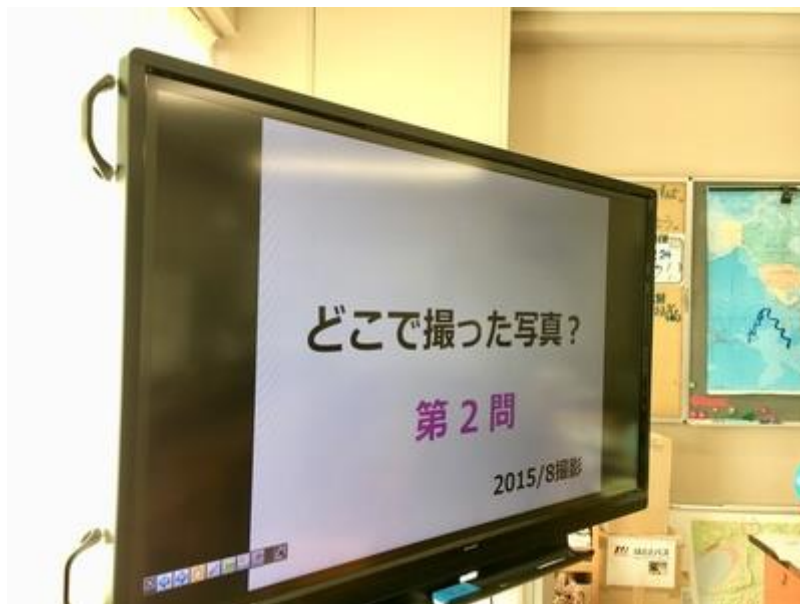
その上、親子二世代で通学のご世帯の場合は、

ご家庭でもこういう盛り上がり方ができるあたり、

私学ならでは。

勤続の長短を問わず、個人や組織の特徴を
存分に伝導しうるところも、私学ならではの。

きょうも地理ネタに移ります。
地図帳を目いっぱい活用できる
スペシャル授業を過日、挙行。



景観の写真を数枚見て、

どこ（ 何県何市, または, 外国ならば国名 ）

かを当てる大会です。



地図帳は調べてOK。
グループ内で相談。
わかった人はそっと
答えを私に教えて。



地域性と向き合う実習, というと些か大げさ
ですが, 日ごろの世間話の内容というのも,
大体そのようなものではないでしょうか。

それでは、この当日の問題を出しますので、
どうぞごいっしょにお考えください。

どこで撮った写真？

第 1 問

2018/12/9撮影





3

↑ 看板の表記は「八代目佐藤養助湯沢店」





5

↑ グリーンカレーに「比内地鶏」「しょつつる」が含まれている…などの情報

2018/12/9 に撮ってきたものです。

何県の何市でしょう。

あとの画に行くにつれ、易しくなりもし…。

第2問もおまけで。

こちらも国内です。

何県何市でしょうか。

どこで撮った写真？

第2問

2015/8撮影





誠に勝手ながら、正解の掲載は、
十分な THINKING TIME をお取りしたのち、
お正月にはいつてから、本稿の末尾に
あげさせていただきます。

景観写真は、多少のヒントの付加により、
地域の特徴が読み取れるものとなります。

なので、撮る際には、SNS 映えよりむしろ、
地域性映えの方を意識したりもします。



がんばれ ☆ センター試験受験生



(2018/12/28 16:30)



【正解関連】

第1問ですが、つい先月に訪れた2018/12/9に数十 cm もの積雪ですので、まずは「雪国」かと考えます。具体的には、日本海で暖流・対馬海流の水分をたらふく吸った雪雲が、シベリアからの北西季節風に押されて、本州の山脈に当たって山腹に大量の降雪をもたらすといった景です。

次に写真3にある、「佐藤養助 湯沢店」の「湯沢」なる地名です。地図帳の索引で「ゆざわ」を探すと、①湯沢・市(秋田)と②湯沢・町(新潟県の南部)、③湯沢・温泉(新潟県北部の関川村; 実は日本各地に複数「湯沢温泉」は存在する模様)の3つが掲載されていたりします。

特に、②の湯沢町は、上越新幹線の「越後湯沢」駅があるなど、著名なスキー場を周辺にかかえる知名度の高い自治体です。授業においても「わかった～」と言ってにこにこしている生徒に、「そっと答えて」の段で「新潟県・湯沢町」とささやいてもらったのですが、残念。正解ではありません。

となると、もう一方の「湯沢」の地ではなるまいか？ で、二番手で「秋田県・湯沢市」と答えに来た生徒が正解。という些かグループ対抗戦に熱の出るパターンとなりました。

これにくわえて、高校生には難解だったかなと申し訳なく思うポイントとして、「秋田県らしさ」のただようポイントの読み取りにあります。

写真4の割りばしの袋に「稲庭うどん」とあります(ブログの画像では読み取りにくくてすみません。授業では大型画面で、接近確認可としています。)

「日本三大うどん」というと、讃岐うどん(香川)と稲庭うどんは間違いなく上位二位のようですが、その、稲庭うどんが秋田県のものをご存知だと有利でしたね。しかも、広大な秋田県(面積第6位)の湯沢市・稲庭が本場。うどんというよりもそうめんに近いのが特徴。

写真5は、こちらのお店で好評の斬新なメニューであるタイ風の「グリーンカレーつけうどん」が、「比内地鶏と秋田のしょつづるにココナッツミルクを加えてまろやかで濃厚に仕上げました。」と説明がありまして(ブログ画面では読み取りにくく申し訳ありません)、「秋田見～っつけ!」ともなりそうですが、秋田が誇る高級ブランド地鶏の名前は、スーパーでも肉売り場や、レトルトの鍋用スープにまで見かけます。

また、日本海で獲れるハタハタを醗酵させて造る魚醤「しょつづる」も、きりたんぼ鍋などの使われるなど、秋田県ご自慢の「食」のワードがいくつも登場し、新たなスタイルの郷土料理にまで発展していることがわかります。

ちなみに写真4の右下手前の、一見チャーシュー(焼き豚)っぽくみえるのは、秋田名物「いぶりがっこ」です。大根が原料で、たくあんのようなものですが、寒風で大根を乾かす関東とは違い、冬季に晴天が少ない雪国・秋田では、屋内の囲炉裏(いろり)の煙で大根を燻(いぶ)って造られており、燻製としての風味をもつのも魅力です。

第2問です。

写真1の「国道294号の終点」の景観からですが、学校所在地の茨城県取手市には、6号線と294号線の2路線の国道が通じています。そのうち、294号線は取手市から北西方向へ、守谷市・常総市方面に通じる路線であることを、知っている生徒もいますが、「取手市を通っている」ことを伝え、地図帳で関東地方のページを開いてひたすら国道294号線をたどるような状況から始まりました。

さっそく、早い生徒は「栃木県・那須烏山市」とささやきにきました。

でも、信号機が縦長であり、「停止線」と記された道路標識がわざわざ設置されているということは、冬は雪が積もる地域なのでは？という助言を。関東より北でしょう。

次に「福島県・白河市」と来た生徒には、「通ってるけど、もっと先が・・・」として、写真2以降へ。

見ごとな城がそびえる都市です。詳しい方だと写真3のお判りになると思いますが、お城の中の展示を撮った写真4で、かなりの方がお判りになると思うのが、「白虎隊（びゃっこたい）」「飯盛山」などの語ですね。写真5・6にもなると、藩名の会津までばればれとなったところで、鶴ヶ城を中心に栄えた福島県西部の会津盆地にある城下町・会津若松市であることを、「地図帳見てよし」の条件下なら、当ててほしいなあと思う問いでもあります。

ちなみに、国道294号線の区間は、千葉県柏市～福島県会津若松市とされていますが、柏市と取手市の間は国道6号線と重複しての設定のようで、事実上の南の起点は、本校のスクールバス取手駅線も通行する国道6号線にある、「国道294号入口」交差点（取手市白山）のようです。

この問題はこのほかに、国内をたずねたものをもう1問、国外のをもう2問用意。5A 理系(12/15)と6C 文系(12/17)にはチャレンジしてもらいました。

2019/01/04

卓 490 研修ウォーク

新しい年を迎えました。平成元号もあと四月。

前号でご紹介した、卒業生による教員似顔絵が
贈られたのは十年前の春でしたが、当ブログの
オープンはその5か月後の8月下旬でした。

校内、授業、校外学習、部活の様子などを
一貫して週1ペースで発信してまいりました。
500号とちょっとまで行ければと思います。

気・時・空・財の度量衡を見守りながら、
自助・共助・公助の均衡も図りながら、
イライラ・クヨクヨ皆無の日々を創るところに、
「平和」や「幸福」を具現化する意味があります。

* * * * *



(2018/12/27 11:16)

12/27(木)の日中, 都内で研修会がありました。

ALL 聖徳・18の機関, 全員集合というもので,

六百名超の教職員が会しました。

18の教育機関というのは

春の七草や名古屋のういろの種類のよう

全部唱えてみてしまうと,

大学院・大学・短大・通信教育・専門学校・

高校(秋山・取手)・中学(秋山・取手)・小学校・

大学附属幼稚園(松戸・小金原・成田・浦安)・

聖徳学園幼稚園(三田・八王子・多摩)・

生涯学習(SOA),

…言えました。合っていますよね。

ちなみに, 3, 4行目はそれぞれ,

「附属四園」「三田三園」と称されています。

この人数規模ですから,

年末のごあいさつをお席でうかがうのが

ベストなわけですが, やはり,

お聴きした内容の共通項はというと,

教育現場のみならず, 国内のどの業界も,

「先の大戦を上回る近年の人口減少」

「目に見えない人口減少」①

に直面している昨今, さまざまな

見直しや工夫が要求されるところ。

でも,

「他国に先立っての人口減少,

と思えば, やり甲斐はある。」②

との見方の通り,

現実直視から積極的な視点まで示唆を頂戴し,

前学期のレビューと次学期のプレビューに

資するビジョンを得る時間となりました。

① 名誉学長・野田聖子先生のお話から

② 理事・小林敬治先生のお話から

* * * * *

研修会からの帰り道,

赤坂見附から丸の内までの3km少々を

健康のために教員4名で歩くことに。



(15:01)

美術の黒沼先生，日本史の牧先生，
家庭科の長嶋先生，地理の私で
目に入ったものを好き勝手に
話しながらのウォーキングです。

さほど寒くもない晴天の昼下がりでした。



現在位置を明治初期の旧版地図上で

確認するアプリを牧先生はスマホに搭載。

明治初期の旧版地図の利点は、

江戸後期の状況＋近代的な地形測量の

双方を具えており、史料的価値高し。

これと現場の景観とを、同時に視認します。



(赤坂見附跡 15:04, 最高裁前(三宅坂)15:16)

地下鉄の駅でいうと、



(東京メトロではなく、都営地下鉄で出してる路線図より)

(黄緑の楕円形は皇居を暗示してい(く)と思われ)ます)

永田町・赤坂見附駅→桜田門駅→二重橋前駅→東京駅

の各駅を結んだ区間を、のんびり歩くこと85分。

この区間の大部分は、皇居(旧江戸城)の

南側の内堀に沿った道で、

皇居ランニングをする方々には日常のルート。

今回私たちは途中、20 数分間に

百人くらいの人に追い抜かれたと思います。



（ 15:35 彼方に去るはランナーさん・影の私たちはウォーカーさん ）

国会議事堂や霞が関の省庁、
最高裁や東京地裁など、三権の要が
密集する一帯であることは周知の地域。



(標高5m刻みで色分け区分 旧江戸城は台地の東端に位置)

(桜田門の前に設置されている千代田区教育委員会による掲示より)

地形的には、高台と低地が交錯しており、
テーブル状の武蔵野台地の東端一帯に、
谷地田とよばれる谷間がひび割れのように
枝分かれ状に入り組んだ、千葉や茨城にも
よく見られるパターンではあるのですが、



(15:24)

水戸や金沢など多くの都市もそうであるように、
城下町としての風格が、谷地田などの元来の
地形景観の上に漂い、数百年間の各時代の
歴史の層の存在を実感させられます。



(15:29)

(15:37 法務省・旧本館 1895 年竣工)

内堀を渡り桜田門に入ると、牧先生からは、

二重構造の桜田門こそが江戸城の持つ

外敵防御の最大の拠点であった旨、

解説を受けます。



(15:45)

(写っていませんが 背後と右方は堀と崖に囲まれています)

上の写真で右奥に見える第一の門(高麗門(こうらいもん))、

左手前に見える第二の門(渡櫓門(わたりやぐらもん))。

その間にある長方形(枅形(ますがた))の広場を、

もう二方にある堀や崖が城内へのゆく手を阻んでいます。



(15:43, 背後は 第二の門である渡櫓門)

第一の門を開いて枡形におびき寄せた軍勢を、
両門とも塞いで一旦ここに閉じ込めた上、

四方から矢玉の雨で打ちのめすという、
ある種攻めのぼる外敵の処刑場として
設計されたという話を名調子で受けると、

幕藩体制や築城技術のもつ歴史的な意味も、
数百年の時間の経過を思いながら、
心に刻む思いで噛みしめることができました。

※「枅形見附門」で検索して出てくるサイト内容も、参考になります。

※ 数年前の環境省のサイトも、位置関係が参考になります。→

https://www.env.go.jp/garden/kokyogaien/topics/post_30.html



(15:44)

関連して、有名な桜田門外の変も、

第一の門の外側で 159 年前に起きており、

楽し詳しい解説を受けましたが、

本稿では割愛します。

第二の門・渡櫓門を過ぎると、

ランナーさんが入れないゾーンへ。

12/23 も 1/2 も皇居への一般参賀に

例年になく大人数の行列が報道されていた

皇居前広場(皇居外苑)です。



(2018/12/27 15:48)

二重橋の本来の意味も確認したところで、



(15:54)

((抜粋)…正門鉄橋は、かつては木橋で、その下に橋げたを支えるもう一つの橋があったため、二重に架けられたという意味で「二重橋」と呼ばれます。…)



(「正門石橋」はよく見えますが、その少し奥に「正門鉄橋」が架かっています。)

(「この二つの橋を総称して『二重橋』と呼ぶ人も少なくありません。」ということも案内に記されています。)

和田倉門から外苑を出て、丸の内へ。



(16:10 遠く正面に東京駅丸の内口駅舎)

数年続いた工事の終わった

JR 東京駅丸の内口の駅前に着きまして、

健康維持のこの日の遠足は終わりました。

この後の食事一味添える運動となりました。



(2018/12/27 16:18)

晴天屋下がりの上掲の区間の景観は、
江戸東京の宝だと思います。
地下鉄ばかりでなく、地上を徒歩や車で、
景観をめでてみてはいかがでしょう。



0 コメント